

新 着 資 料 の 紹 介

資 料 室

1) ソ連地質省全ソ地質研究所 (1973): 「Геохронология СССР (ソ連の地質年代学)」, ネドラ出版所レニングラード支所, 全3巻, 27×18 cm (露文), UDC: 551.7: 550.93(47 + 57)

目 次

(第1巻: 先カンブリア紀: 350p., 図34, 表61, 参533)

第1部 地質年代学の一般問題

第1章 鉱物および岩石の絶対年代測定法

アルゴン法 ストロンチウム法 鉛法

第2章 同位体法データの解釈

第2部 ソ連諸地方の地質年代学的研究の概況

第1章 バルチック楯状地東部

白海=ラプラント始生代地塊とムルマンスク始生代地塊 コラ=ノールウェー=カレリーズ帯とカレリア=カレリーズ帯

第2章 ロシア卓状地の楯状地基盤

バルチック沿岸区とレニングラード地域 白ロシアと同隣接地域 ボロネシュ結晶岩山塊とクルスク磁気異常地域 ボルガ=ウラル地域

第3章 ウクライナ結晶岩山塊

始生代および原生代前期のスーパークラスト=コンプレックスの絶対地質年代 始生代と原生代前期の花崗岩類の絶対地質年代 原生代中期と後期の岩石

第4章 ロシア卓状地の先カンブリア系卓状被覆層

東部地域 中部・西部地域 北部地域 ロシア卓状地卓状被覆層の先カンブリア紀マグマ生成体

第5章 カルパチア山脈地方

第6章 ウラル山脈の先カンブリア紀前期

第7章 ウラル, チマン, ムゴジャルの先カンブリア紀後期

第8章 中央アジア

天山山脈北部と中部 天山山脈ギサル帯 北パミール 南西パミール 南西パミール地域岩石変成期の絶対地質年代

第9章 東カザフ地方

第10章 アルタイ=サヤン地方

第11章 東サヤン褶曲地域 (東サヤン山脈とハマル=ダバン山脈南西部)

第12章 エニセイ高原

第13章 バイカル山岳地域

第14章 ザバイカル地方

第15章 シベリア卓状地の先カンブリア紀前期

アルダン楯状地 同位体組成資料にもとづく東シベリア先カンブリア紀における地質現象の持続性 アナバル楯状地 オレニョク隆起

第16章 シベリア卓状地の先カンブリア紀中・後期マグマ活動

アルダン楯状地原生代中期超塩基性岩・アルカリ岩貫入体

第17章 シベリア卓状地と同褶曲縁帯の先カンブリア紀後期

リーフェイ期下限 リーフェイ期中期 リーフェイ期後期 ウェンド期

- 第18章 タイミール半島とそれに近接する北氷洋の島々
第19章 ブレヤ山塊
第20章 ソ連北東地方先リーフェイ期中央山塊などの山塊
第3部 先カンブリア紀生成体の地方間対比
第1章 先カンブリア紀前期
 鍵層と年代規準 先カンブリア紀前期期間の地質学的内容
第2章 先カンブリア紀中期
 リーフェイ期柱状断面の対比 リーフェイ期の地質年代学的尺度
まとめ

(第2巻：顕生代：344p., 図43, 表43, 参604, 付表4)

- 第1章 コラ半島と北カレリア地方
 カーボナタイトを伴う超塩基性岩・アルカリ岩古生代前期コンプレックス
 古生代中期霞石閃長岩・アイヨライト-ウルタイト コンプレックス
第2章 ロシア卓状地
 卓状堆積被覆層 マグマ生成体
第3章 ウラル, チマン, ムゴジャール
 カニンスク=チマン地域 ウラル北部地域 ウラル中部地域 ウラル南部地域 ム
 ゴジャール地域
第4章 カルパチア山脈地方
第5章 クリミア地方
第6章 カフカス地方
 前カフカス地域 ラビン=マルカ帯とペレドボイ山脈 大カフカス山脈 大カフカス
 山脈南斜面褶曲系 グルジア地塊 アジャール=トリアレット褶曲系 ソムヒト地塊とロ
 クスク=カラバフ帯 中部アルメニア褶曲系 中間総括
第7章 中央アジア
 主要地体構造区分の地質構造の特徴
 天山山脈北部
 天山山脈中部 (チャトカル=クラミンスク帯のプスケム亜帯・ナルイン亜帯, 東カラマザー
 ル, チャトカル=クラミンスク帯)
 天山山脈南部 (東部, 中部, 西部, ガルム地塊)
 天山山脈南西部
 北パミール
 ツラン楯状地南部の基盤
 南パミール
 南西パミール
 天山新生代活化区
 中間総括
第8章 東カザフ地方
 北天山-カザフ褶曲系 (コクチェタフ帯, イシム=ウルタウ=カラタウ帯, サルイス=テニ
 ス帯, チュ=イリ帯)
 北天山帯 (エレメンタウ=バヤナウル帯とチンギス=タルバガタイ帯)
 ジュンガル=バルハシュ褶曲系 (トクラウ帯・パカナス帯・ウスペニ帯・アグジャール=アク
 ソラン帯・チュリクイズイル=チュリクラム帯, ジュンガル=アラタウ地域)
 ザイサン褶曲系

東カザフ褶曲区の中生代

第9章 西シベリア

アルタイ＝サヤン地方

西シベリア低地の結晶岩基盤岩

第10章 東シベリア

タイムイル半島 北バイカル高原 アルダン楕状地 シベリア卓状地の古生代中期マ
グマ活動 シベリア卓状地古生代後期—中生代前期マグマ岩

第11章 ザバイカル地方

古生代前期褶曲区 古生代—中生代褶曲区 東ザバイカル地域の鉱石フォーメーション
の地質年代

第12章 ソ連北東地方

ベルホヤン＝チュコトカ中生代褶曲区 コリヤーク＝カムチャツカ新生代褶曲区 東ヤ
クートの中生代—新生代マグマ活動 ソ連北東地方の鉱床の地質年代

第13章 ソ連極東地方

ブレヤ山塊 東プリアムール地域と北シホテ＝アリン山脈地域 南プリアムール地域
シホテ＝アリン褶曲系の鉱床の地質年代

第14章 顕生代の地質年代学的尺度について

まとめ

（第3巻：鮮新世後期—第四紀：359p.，図31，表49，参607，付図4）

第1部 地質発達史最新期の地質年代測定法

第1章 放射性元素法

放射性炭素法 カリ－アルゴン法 ウラン核分裂トラック法 非平衡ウラン法

第2章 物理化学的方法

熱ルミネッセンス法 弗素法 古磁気法

第2部 ソ連の最新期層の地質年代学的研究状況

第3章 ヨーロッパ＝ソ連の北西地方と中央部地方

更新世中期と前期 更新世後期 氷河期後期—後氷河期

第4章 ヨーロッパ＝ソ連の南西地方

西部沿黒海地域（ウクライナ黄土層系岩石の熱ルミネッセンス地質年代）
東部沿黒海地域（鮮新世中—後期，更新世）

第5章 ヨーロッパソ連の東部と中央アジア

カスピ海地方（鮮新世，更新世）

アルメニア

カフカス地方の最新期マグマ作用

ボルガ中流地方

前ウラル地方

中央アジアとカザフ地方（鮮新世中・後期，更新世）

第6章 シベリアとソ連東部

沿オビ河流域

沿エニセイ流域（鮮新世後期と更新世前—中期，更新世後期と完新世）

沿レナ河流域

北東地方と極東（北東地方，極東）

第3部 ソ連地質史最新期（鮮新世—第四紀）の地質年代規準

第7章 最新期の地質年代学的暦

考古学的暦

天文学的暦

古磁氣的暦

第8章 最新期地質年代学的規準確定試行としてのソ連領内における鮮新世中・後期と更新世の地質現象の地域間のシンクロナイゼーション

鮮新世中・後期

更新世

更新世後期後半と完新世

外国資料との比較

まとめ

2) Г. А. Голодковская 編 (1975) : 「Инженерно-геологические исследования при разведке месторождений полезных ископаемых (鉦床調査時における土木地質学的研究)」, Москва 大学出版所, 187p., 図42, 表7, 参147, 26×17 cm (露文), UDC: 624. 131. 1

目次

第1部 鉦床の土木地質学的研究の理論的基礎と方法

第1章 調査時における鉦床の土木地質学的研究方法論の基本

問題の現状 主要課題 原則 方法論の特徴 研究の段階性 方法

第2章 岩石山塊の研究と評価

岩石の物理的・機械的性質

第3章 凍結条件の研究と評価

第4章 土木地質区区分

土木地質図の型式 土木地質区区分図 地表施設建設用土木地質区区分 鉦床開
用土木地質区区分

第2部 タルナフ鉦床の土木地質条件

第5章 タルナフ地域の概況

自然条件 鉦床発見・研究史概説

第6章 地質の特徴

先第四系の地質学的特徴 第四系と地形発達史

第7章 水理地質条件

第8章 凍結条件

凍結の特性

第9章 第四系の土木地質学的特徴

研究法 物理的・機械的性質 土木地質学的分類

第10章 岩石山塊の土木地質学的評価

岩石の物理的・機械的性質

第11章 土木地質区区分

地表施設建設のための地域の評価 立坑建設のための山塊の評価

3) С. Е. Колотухина, Л. И. Клаповская, А. В. Рожанец (1974) : 「Геология и экономика месторождений редких элементов Австралии (オーストラリアの稀少元素鉦床の地質と経済)」, Наука出版所, Москва, 270p., 図78, 表61, 参700, 27×18 cm (露文), UDC: 553.4.042. 003.1: 338.4 (436)

目次

第1部 地質

- 第1章 文献概説
 - 第2章 構造地質区区分
 - 第3章 オーストラリア古期卓状地
 - 西オーストラリア楕状地
 - イールガーン内核体 ピルバラ内核体 中央帯 キンバリー地塊とスタート地塊
 - 中部オーストラリア楕状地
 - アラント地塊 アマジエス地溝 マスグライブ地塊
 - 原生代前期褶曲体
 - パイン=クリーク褶曲構造 テンナント=クリーク褶曲帯
 - 東部前縁地塊
 - マウント=アイザ褶曲帯 ジョージタウン地塊
 - 第4章 南オーストラリア楕状地とアデレード褶曲区
 - ゴラー地塊
 - アデレード褶曲区
 - ブロークン=ヒル中央山塊 アデレード褶曲区構造
 - 第5章 タスマニア褶曲区
 - ラクラン褶曲系
 - 層序 地質構造
 - ニュー=イングランド褶曲系
 - 層序 地質構造
 - タスマニア褶曲区発達史
 - 第6章 花崗岩質マグマ活動
 - ピルバラ内核体
 - イールガーン内核体
 - 古期 (synkinematic) 花崗岩類
 - 新期 (postkinematic) 花崗岩類
 - キンバリー地塊
 - パイン=クリーク褶曲構造
 - アラント地塊, マスグライブ地塊, マウント=アイザ地塊
 - ブロークン=ヒル中央山塊
 - タスマニア褶曲区
 - 第7章 南半球諸大陸の構造中でのオーストラリア大陸の位置
- 第2部 内因性稀少金属鉱床
- 第8章 オーストラリアの稀少金属鉱床生成区の構造地質的位置
 - 第9章 西オーストラリア楕状地の鉱床
 - 稀少金属ベグマタイトと金-テルル鉱床 (ピルバラ鉱床生成区, イールガーン鉱床生成区)
 - イールガーン地塊活化帯中の稀少金属花崗岩ベグマタイト
 - 第10章 先カンブリア紀岩石地塊の鉱床
 - 稀少金属ベグマタイト (キンバリー=ダーウィン鉱床生成区, アラント鉱床生成区, マスグライブ鉱床生成区)
 - 第11章 古期褶曲帯と中央山塊の鉱床
 - 含稀土類ウラン鉱床, 銅-ビスマス鉱床, タングステン-ビスマス鉱床 (パイン=クリーク鉱床生成区, テンナント=クリーク鉱床生成区)
 - 含カドミウム多金属鉱床, 含稀土類ウラン鉱床, 稀少金属ベグマタイト (マウント=アイザ鉱床生成区, ジョージタウン鉱床生成区, ブロークン=ヒル鉱床生成区)

- 第12章 タスマニア褶曲帯の鉱床
含カドミウム・テルル・セレン多金属鉱床, 含インジウム錫鉱床, 錫-タングステン-ビスマス鉱床 (ライエル鉱床生成区, マチナ鉱床生成区)
タングステン-モリブデン-ビスマス鉱床, 錫鉱床, 含カドミウムまたは含ビスマス多金属鉱床 (カプチンス=フラット鉱床生成区, ハーバートン鉱床生成区)
銅-金鉱床, モリブデン-ビスマス鉱床 (ニュー イングランド鉱床生成区)
- 第13章 オーストラリア諸鉱床中の稀元素の分布
- 第3部 外因性稀少金属鉱床 (海浜・沿岸砂鉱床)
- 第14章 オーストラリア東岸の砂鉱床 (クィーンズランドとニュー=サウス=ウェールズ)
現世砂鉱床の起源
海浜-沿岸帯での砂鉱床の形成と性質
砂鉱の粒度組成と鉱物組成
東岸海浜帯中の有用鉱物含有率と鉱量
北クィーンズランドとニュー=サウス=ウェールズ南部の沿岸砂鉱床
- 第15章 南西海岸の砂鉱床
- 第16章 その他の地域の海浜-沿岸砂鉱床
ビクトリア州
キング諸島・フリンダース諸島を含むタスマニア島
ノース=テリトリー
- 第4部 オーストラリアの稀少金属資源に関する経済情報
- 第17章 各稀少金属の鉱物資源と稼行性
- 第18章 資本主義社会の稀少金属の鉱量・生産・輸出におけるオーストラリアの役割

4) В. И. Драгунов, А. И. Айнемер, В. И. Васильев (1974) : 「Основы анализа осадочных формаций (堆積フォーメーション解析の基礎)」, ネードラ出版所レニングラード支所, 159p., 図14, 表22, 参240, 22 × 15 cm (露文), UDC: 552.5: 551.24

目 次

- 第1章 地質フォーメーションに関する認識の基本概念
フォーメーションに関する認識の現状
地質フォーメーション——岩石の共生
自然生成体——自然科学の個々の対象, その種類と立体的産状
地質フォーメーション——物質構成レベル, その単元, 構造と種類
構成レベルの概念の立場とフォーメーションに関する認識の基本定義と派生定義
地質フォーメーション分類の系統のおよび応用的見地
大量生成・単元複合・物理的連続性の原理——フォーメーションのホロタイプ区分の基礎
地質学の定義系列の継承について
フォーメーション学の用語と命名法について
- 第2章 パラジェネレーション構造とその単位構成の分類
地質客体の構造の主な見地
地質客体境界の主な種類と性質
パラジェネレーションの単位構成の形態と構造の分類
パラジェネレーションの構造と形態の分類
- 第3章 パラジェネレーション区分とその生成条件復元の数学的方法
パラジェネレーションの数学的モデル化
パラジェネレーション生成条件の復元

- 第4章 フォーメーション客体と地質・鉱床分布規則性解析
フォーメーション客体とその共生体の層位的・構造地質学的・メタロジェニック関係
パラジェネレーションの区分と研究

まとめ

5) **С. В. Москапева (1974)** : 「Гипербазиты и их хромитонность (超塩基性岩とそのクロム鉄鉱床胚胎性)」, ネードラ出版所レニングラード支所, 279P., 図47, 表20, 参410, 22×15 cm (露文), UDC: 552.231.5/6: 553.461

目次

- 第1章 超塩基性岩・塩基性岩系とその分類の原則
- 第2章 褶曲区におけるクロム鉄鉱床胚胎超塩基性岩の広域分布規則性
ウラル地方の超塩基性岩
外ウラル古生代褶曲区の超塩基性岩
中生-新生代褶曲区の超塩基性岩
先古生代褶曲区の超塩基性岩
地域のクロム鉄鉱床胚胎ポテンシャル規準としての構造地質上の位置
- 第3章 超塩基性岩山塊中のクロム鉄鉱床の分布規則性
ウラル地方のクロム鉄鉱床
外ウラル地方古生代褶曲区のクロム鉄鉱床
中生-新生代褶曲区のクロム鉄鉱床
先古生代褶曲区のクロム鉄鉱床
褶曲区超塩基性岩山塊中のクロム鉄鉱床分布主因としての後鉱化期構造地質
- 第4章 超塩基性岩のクロム鉄鉱床胚胎性の岩石学的規準
クロム鉄鉱床成因問題の現状
ダナイト-ハルツバージャイト岩系の超塩基性岩とそれに関係ある初成鉱床の岩石学と成因
超塩基性岩の変成作用と鉱床
- 第5章 超塩基性岩とクロム鉄鉱石の物理的性質およびその地球物理学的資料の地質学的解釈での役割
超塩基性岩の帯磁率
クロム鉄鉱の帯磁率
超塩基性岩とクロム鉄鉱の比重
弾性波伝播速度
- 第6章 クロム鉄鉱床の予測の基本
予測の理論的前提
クロム鉄鉱床探査への実際的勧告

6) **И. И. ШаФрановский, Л. М. Плотников (1975)** : 「Симметрия в геологии (地質における対称性)」, ネードラ出版所レニングラード支所, 144P., 図61, 表9, 参193, 22×15 cm (露文), UDC: 548.1: 551.1/.3

目次

- 第1章 対称性と地質に関する研究
- 第2章 地質中の対称性に関する文献概括
- 第3章 惑星としての地球の対称性
- 第4章 地質構造の対称性
- 第5章 岩石の構造・組織の対称性

第 6 章 結晶鈳物個体の対称性

まとめ

7) **О. С. Грачева (1974)** : 「Грайзены Северо-Востока СССР (ソ連北東辺区のグライゼン)」, ネードラ出版所, モスクワ, 170P., 図53, 表16, 参128, 21 × 15 cm (露文), UDC: 553.064.34(571.56 +571.65)

目 次

北東辺区の地質の特徴

マグマ活動

稀少金属鈳体胚胎貫入岩の特徴

内因性鈳化作用

鈳床の一般的特徴 錫鈳化作用 タングステン鈳化作用 モリブデン鈳化作用

稀少金属鈳床と貫入岩コンプレックスとの関係

グライゼン

一般的特徴 グライゼンの相 (白雲母相, 電気石相, 石英-黄玉相, 石英-長石相, 石英-アンブリゴナイト相, 高アルミナ=グライゼン, 稀土類グライゼン, 鉄質グライゼン)

まとめ

8) ソ連地質省全ソ地質研究所 (1973) : 「Инфрасные спектры поглощения основных породобразующих минералов (主要造岩鈳物の赤外線吸収スペクトル)」, レニングラード, 107P., 図28, 表28, 参44, 21 × 15 cm (露文), UDC: 549: 535.33-15

目 次

機器と方法論

主要造岩鈳物の赤外線吸収スペクトル

斜長石 カリ-ナトリウム長石 雲母 輝石 角閃石

まとめ